

様式 A

仮同意書

平成27年__月__日

全国卸商業団地厚生年金基金 御中

事業所名称 _____ ⑩
(事業所番号 _____)

新しい企業年金基金に関する事業所としての「仮同意」について

全国卸商業団地厚生年金基金が解散するにあたり、当基金の加算部分の給付を引き継ぐ新しい企業年金基金（確定給付企業年金法に基づく基金型確定給付企業年金で、平成28年4月発足予定の「全国卸商業団地企業年金基金（仮称）」）に関し、当事業所として加入に仮同意いたしますので、ここに通知いたします。

なお、当基金から提示されている新しい企業年金基金の制度内容の変更や今後の経済情勢の変化などにより、当事業所として仮同意の意思を変更することもありますので、あらかじめお含み置き願います。

記入例

仮同意書

平成27年 **3月26日**

全国卸商業団地厚生年金基金 御中

東京都港区赤坂5-1-31
第六セイコービル4階
事業所名称 **卸団地基金 株式会社**
(事業所番号 **00121**)

社
判

ゴム印で結構です

代表者印または社判

新しい企業年金基金に関する事業所としての「仮同意」について

全国卸商業団地厚生年金基金が解散するにあたり、当基金の加算部分の給付を引き継ぐ新しい企業年金基金（確定給付企業年金法に基づく基金型確定給付企業年金で、平成28年4月発足予定の「全国卸商業団地企業年金基金（仮称）」）に関し、当事業所として加入に仮同意いたしますので、ここに通知いたします。

なお、当基金から提示されている新しい企業年金基金の制度内容の変更や今後の経済情勢の変化などにより、当事業所として仮同意の意思を変更することもありますので、あらかじめお含み置き願います。